

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	8 章 計画の推進に向けて			
	施策(大柱)	2 節 広域行政	H20 実施計画事業費合計	1,204 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 広域行政体制の強化		1,204 千円	
				千円	
				千円	
			千円		
施策に係る所属	政策企画課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的															
	○関係自治体との連携を強化し、環境の保全や交通網の整備など、共通の課題について取り組む。 ○「埼玉県西部地域まちづくり計画」(ダイアラン)に基づき、さらなる圏域市民の生活の向上にむけたサービスに取り組む。															
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法															
	○広域行政体制の強化 共通の課題に取り組むため、関係自治体間の連携を強化し、広域にわたる環境問題の解決や市民サービスの向上などの業務処理を進める。公共交通能力の増強など市民生活の向上に必要な試験について、国や県に要望する。埼玉県西部地域まちづくり計画を推進し、圏域市民の暮らしの向上をめざす。															
	3) 分野別計画、指針															
○埼玉県西部地域まちづくり計画後期計画																
4) 関連・類似施策																
5) 施策に対する市民ニーズ																
『平成19年度所沢市市民意識調査』(20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。)における、全43施策についての市民要望の確認(複数回答可)の結果です。																
6) 施策に係る基礎数値																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相互利用施設数</td> <td>施設</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>ダイアラン圏域(所沢市・入間市・狭山市・飯能市)人口</td> <td>人</td> <td>732,200</td> <td>732,833</td> <td>731,783</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	相互利用施設数	施設	57	58	59	ダイアラン圏域(所沢市・入間市・狭山市・飯能市)人口	人	732,200	732,833	731,783
項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度												
相互利用施設数	施設	57	58	59												
ダイアラン圏域(所沢市・入間市・狭山市・飯能市)人口	人	732,200	732,833	731,783												

③ 優先的に取り組む事業	事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画-中柱」に位置づけられたものが記入されます。

④ 5年後の目標/成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
	【5年後の目標】広域行政サービスに対する認知度	広域でのサービス向上を図る指標	%	年度	目標値	73.1	74.8	76.6	78.3	80.0	年度	
				17	実績値	71.0	74.9			実績値の拡大を目指す1	1	目標値
				71.4	達成率	97.1%	100.1%			縮小を目指す2		80.0
	広域施設利用者数	圏域内の市民が圏域内他市の施設をした延べ人数	人	年度	目標値	421,395	441,046	460,698	480,349	500,000	年度	
				17	実績値	452,654	439,583			実績値の拡大を目指す1	1	目標値
				401,744	達成率	107.4%	99.7%			縮小を目指す2		500,000
				年度	目標値						年度	
					実績値					実績値の拡大を目指す1		目標値
					達成率					縮小を目指す2		
			年度	目標値						年度		
				実績値					実績値の拡大を目指す1		目標値	
				達成率					縮小を目指す2			

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

⑥ 評価(課題及び目標方向性)	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
	会議などは簡素に開催するなど、各市の負担を軽減する見直しが必要である	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	各部会のあり方を見直し、活動をより一層活性化させる。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	4市市民へのサービスの向上に直接つながるよう、各市の情報交換と連携を推進していく。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	ダイアラン20周年記念事業を開催するため、各部会・スタッフの連携を一層強化する。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2) 平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)

3) 今後の方向性(事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など)

本年度、埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアラン)は、設立20周年を迎える。これまでの実践や成果を踏まえ、今後の充実が期待される。周年事業を通して、より長期的観点にたった将来への各市、各部会の議論が必要である。

評価日 8月7日 記入者職氏名 総合政策部人権・広域行政担当 内藤 隆行